

「鎌倉市商工業振興計画（働くまち推進計画）案」へのご意見に対する市の考え方

	項目	意見（要約）	市の考え方
1	計画全般	<p>鎌倉市には①大型遊具、②交通アクセス、③近隣でトイレや食事ができる商業施設がそろった公園がないので、検討してほしい。</p> <p>イトーヨーカドー大船店の近くに公園があればよいが、遊具が撤去されていたり、充実していない。日中から、大人が飲酒や喫煙できる公園として、働くまちを推進しているかもしれないが。</p> <p>平塚市の平塚公園は、駅から離れるが、バスが5分に1本ほど通っており、駅ビルにはレストランも子供用トイレもある。横浜市の三井アウトレットパーク横浜ベイサイドでは、ユニクロに大型遊具があり、モノレールのアクセスも良く、レストランや子供用トイレもある。</p> <p>自家用車で出かければよいと言われるかもしれないが、鎌倉市内の慢性的な渋滞を考えると、公共交通機関を活用できるとありがたい。</p>	<p>商工業振興計画は、現行の第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画のうち、「商工業振興の充実」及び「労働環境の充実」に関する分野別計画であり、ご意見にあるような商業施設の近隣にある遊具が充実した公園の整備については、本市の総合計画では、「都市公園の整備・管理」の施策の方針で対応していくべきものであることから、いただいたご意見について、担当課に伝えてまいります。</p>
2	(2) 計画の骨子	<p>P.20「(2) 計画骨子」について、「製造業」に対する記述があまりみられません。</p> <p>製造業は「雇用の場」として重要な機能を持っていますので、計画骨子に「製造業」に対する具体的な支援策を記載頂いた方が良いと思います。</p> <p>計画の骨子では主要KPIが記載されています。このKPI目標を達成するために、具体的にどのような施策を実行していくか、この部分の記載をより具体的に記載した方が良いと思います。</p>	<p>「製造業」については、1 計画の背景と目的、2 本市商工業の概要の(3) 現状と課題において「製造業等」として記載しており、その課題に対する施策については、4 施策及び個別事業の(2) 中小企業等への経営支援及び(3) 企業立地支援において記載しています。</p> <p>「製造業」の重要な機能は指摘のとおりであり、現状において、大規模な製造業の事業所は激減していることから問題意識を強めており、鎌倉市企業立地等促進条例を軸に、製造業等の誘致、留置きに関する施策を進めていきます。</p> <p>(2) 計画の骨子では、「働く場」の確保において4本、「働く環境」の整備において3本の施策の方向について述べ、その下欄に主要KPIを記載して関係をわかりやすくしています。計画における具体的な取組(事業)については、4 施策及び個別事業において、具体的に記載しており、番号を共通にするなどにより、つながりを持たせています。</p>

<p>イ 「働く環境」の整備 ものづくりの伝承 【4-7】</p>	<p>P.23 「ものづくりの伝承」について、記載の中身は「鎌倉彫」に特化した内容になっています。ものづくりは「鎌倉彫」以外にも製造業一般を指している言葉です。「ものづくりの伝承」ではなく「伝統的工芸品の伝承」の方が良いと思います。</p>	<p>ものづくりは製造業一般を指すというご指摘はそのとおりですが、「(7) ものづくりの伝承」にしたのは、鎌倉彫をはじめとした市内技能職の後継者の育成や確保への支援を含めた施策であることから、このような記載になっています。</p>
<p>4 施策及び個別事業 (1)創業支援 創業支援等事業計画による創業支援</p>	<p>P.26 「創業支援等事業計画による創業支援」については、元気アップ事業の創業部門で1人だけに上限100万補助するのではなく、その予算100万円を創業セミナーに予算の付け替えを希望します。</p> <p>セミナーに民間の創業支援に定評のある講師を招へいし、創業セミナーの広告を積極的に打つことで、セミナー参加者を増やしたうえで、セミナー受講者からの成功者を増やすことにつながるので、100万円の効果が1人から多くの方々と幅広になり、費用対効果が高くなるものです。</p>	<p>「鎌倉市商工業元気アップ事業」は、令和4年度に制度をリニューアルしたばかりであり、有効に活用されていることから、当面は現行予算のまま実施していきます。</p> <p>その一方で、「創業支援等事業計画による創業支援」については、現行の「創業セミナー」の効果を検証した上で、事業拡充の方向について検討してまいります。</p>
<p>3 エ 観光客 商店街の活性化 【4-(4)】</p>	<p>鎌倉市全体の商工振興策として、鎌倉市に欧米豪富裕層をターゲットとした宿泊需要の創出と街のブランド化を提案します。今後、発展が見込めるインバウンド観光を大きな産業として位置づけることによって、財政のパイを大きくすることが可能です。なお、そのビジネスの可能性に対して、あまりにも市の観光予算が少なすぎると感じております。</p>	<p>商工業振興計画は、現行の第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画のうち、「商工業振興の充実」及び「労働環境の充実」に関する分野別計画であり、ご意見にあるような観光客のターゲティングやインバウンド観光の推進については、本市の総合計画では、「観光」の分野で対応していくべきものであることから、いただいたご意見について、担当課に伝えてまいります。</p> <p>なお、商工分野では、商工業振興計画の「商店街の活性化」の施策において、外国語のリーフレットの発行やキャッシュレス決済の導入等のインバウンド対応を進める商店街団体を支援していきます。</p>

	<p>旅行者として成熟した欧米豪富裕層を“宿泊客”として鎌倉に誘致することを提案します。それによって、夜や朝の飲食や買い物の需要が創出され、商店街の活性化にもつながります。さらに、宿泊滞在により、プライベート対応をする高単価の坐禅、能・茶などの伝統文化・芸能、鎌倉彫に代表される伝統工芸などの体験需要も創出されます。鎌倉彫についていえば、作品に歴史などのストーリーを加えることで高額の商品の購入につながります。</p>	<p>商工業振興計画は、現行の第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画のうち、「商工業振興の充実」及び「労働環境の充実」に関する分野別計画であり、ご意見にあるような宿泊観光の推進については、本市の総合計画では、「観光」の分野で対応していくべきものであることから、いただいたご意見について、担当課に伝えてまいります。</p> <p>なお、商工分野では、宿泊観光の推進に寄与するため、企業立地等促進条例の対象業種に「宿泊業」を位置づけ、「宿泊業」の誘致に係る運用を進めています。また、商工業振興計画の「ものづくりの伝承」の鎌倉彫に関する施策において、外国人観光客等の新たな需要を取り込むためのプロモーションビデオによる広報やインターネット通販を活用した販路の拡大について、検討を進めます。</p>
	<p>限られた人材と予算で集中的にプロモーションの実現に湘南鎌倉 DMO (Destination Management Organization) の創設を提案します。世界市場での誘致合戦で戦うには、総合的なエリアマネジメントが求められます。広域連携のメリットはエリア全体への注目度をあげることで、宿泊デスティネーションとしての認知が高まります。すでに鎌倉市と藤沢市との連携はありますが、さらなるエリアでの意思統一が重要です。</p>	<p>商工業振興計画は、現行の第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画のうち、「商工業振興の充実」及び「労働環境の充実」に関する分野別計画であり、ご意見にあるような湘南鎌倉DMOの創設については、本市の総合計画では、「観光」の分野で対応していくべきものであることから、いただいたご意見について、担当課に伝えてまいります。</p>
	<p>インバウンド観光からの大きな売り上げが実証されている買い物需要創出のため、若宮大路の、富裕層向け「古都ストリートブランド」化を提案します。若宮大路は比較的大規模の敷地の店が多く、登録有形文化財などの歴史的木造建築物や伝統工芸の鎌倉彫の店も残っています。もし今後、建て替えなどがあれば、木造建築物にして、古都の景観を増幅することも可能です。テナントとして歴史を大切にする HERMES などのファッションブランドをちりばめて誘致していければ、坪当たりの売り上げも見込めます。この戦略は、インバウンドのみならず住民、国内観光客にも受け入れられると思われます。</p>	<p>商工業振興計画は、現行の第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画のうち、「商工業振興の充実」及び「労働環境の充実」に関する分野別計画であり、ご意見にあるような若宮大路の富裕層向け「古都ストリートブランド」化については、本市の総合計画では、「都市景観」の分野で対応していくべきものであることから、いただいたご意見について、担当課に伝えてまいります。</p> <p>なお、鎌倉市企業立地等促進条例に基づく企業立地支援施策の対象業種について、現状では、製造業、情報通信業、宿泊業及び自然科学研究所に限定しています（深沢地域整備事業用地を除く）。</p>